

天然床材のお手入れ方法

サイザル麻・ ココヤシ床材の メンテナンス

サイザル麻やココヤシ繊維は非常に丈夫な繊維で、それらの繊維で縫った床材は耐久性が抜群で土足文化の象徴で古くから使われて来ました。公共施設、店舗、ご家庭でもご用意頂けますが、一般的なカーペットと較べてハードな踏み心地で、その特徴が逆に欠点になることがあります。お客様にそれらのことを理解して頂き、より素材を活かしたご利用をお願いいたします。

掃除

日常のお手入れはバキューム式掃除機を使い、床材の目に沿って縦、横交互に繰り返し掃除をしてください。

拭き取り

床材に液体及び液状のものをこぼして放置するとシミになります。速やかに雑巾・ペーパータオル等で拭き取ってください。

ご注意

硬い繊維なので家庭でご使用の場合、ストッキングの伝線の懼があります。気になる場合はスリッパを着用してください。

カビについて

天然の繊維ですから湿った状態にしておきますとカビが発生しやすくなります。万一カビが発生した場合は、床材を充分に乾燥させてから消毒用アルコールを使用し除去してください。

日光

直射日光が常に当る場合、その部分が色あせることができます。カーテンやブラインドで遮ってください。

色の差

追加オーダーの場合、色目に多少の違いが出ます。ロットは大きく分けて3~5種類あります。

藤・竹床材の メンテナンス

藤は天然象牙質を表面に持ち、数ある木質系素材の中でも、藤のように軽くて丈夫、しかも特別な表面加工仕上げ無しでも水に強く肌ざわりの良い素材は類を見ません。反面、天然素材であるが故に、反りや伸縮作用で隙間が出やすいなど欠点があります。竹は繊維質が細かく、虫がつきにくいモウソウ竹の硬質の部分を使用しています。竹は寸法の安定性に優れ、床材が凸凹になる心配はありませんが、取り扱いが悪いと表面をキズつけてしまい、美観を損ねる恐れがあります。

掃除

日常はバキューム式掃除機でゴミ、ホコリを吸い取り、柔らかな布で乾拭きしてください。

換気

常に濡れた状態にしておくと、カビが発生することがあります。日々、換気して衛生的に保ってください。

※梅雨時期は充分な換気をして下さい。

温度管理

藤は乾温の変化で大きく伸縮します。又、エアコンなどで乾燥した場合は収縮します。

カビについて

カビが発生した場合は、床材を充分に乾燥させてから消毒用アルコールを使用し除去してください。

日光

長時間日光の当る場所でのご使用は変色や湾曲の原因になりますので、カーテンやブラインドで遮ってください。

出入口

お風呂場出入口部分には、足ふきマット(ココフレッシュ)をおすすめします。

湿度管理

強力な除湿をしている部屋では乾燥し過ぎる恐れがあり、表面の藤ピラが割れやすくなりますので、日々硬く絞った布で拭いてください。

ピラ割れ・ピラ浮き

ご使用中に藤ピラの割れに気づかれた時は速やかに、木工用瞬間接着剤(コニシボンドアロンアルファNo.3プロ用)を使用して割れた箇所を補修してください。

シミの取り方

時間の経過したものやシミの種類によってはとれないものもあります。
参考として、下記のシミ抜き応急処置をお試しください。

水溶性のよごれ

シミの種類:コーヒー紅茶・お茶・ジュース類など



処理.1

キッチンペーパーなどで、すみやかに汚れを吸い取る。

シミの種類:醤油・ソース・ケチャップ・マヨネーズなど



処理.1

ホストスポンジを置きパックする。乾燥後掃除機で吸い取る。

処理.2

中性洗剤を水でうすめた液を少量かけ、歯ブラシでこすり、汚れを吸い取る。

処理.3

ホストスpongを置きパックする。乾燥後掃除機で吸い取る。

油性のよごれ

シミの種類:食用油・チョコレート・化粧品など



処理.1

ベンジンまたはアルコールをつけた歯ブラシでたたく。

処理.2

キッチンペーパーなどですみやかに汚れを吸い取る。

処理.3

ホストスpongを置きパックする。乾燥後掃除機で吸い取る。

その他によごれ

ペットの汚物(便・嘔吐など)



処理.1

中性洗剤を水でうすめた液を少量かけ、歯ブラシでこする。

処理.2

キッチンペーパーなどですみやかに汚れを吸い取る。

処理.3

ホストスpongを置きパックする。乾燥後掃除機で吸い取る。

ご注意: ● 洗剤の水溶液やベンジンなどはかけすぎに注意してください。床材が変色する場合があります。

- 輪ジミをつくらないよう周りから中心に向かって処理してください。
- 中性洗剤の水溶液は、スプレー・ボトルや霧吹きを使うと適量噴射できます。
- ペットの嘔吐は強酸性ですので、すみやかに処理しないとシミが残ります。